

環境カウンセラーとしての心構え

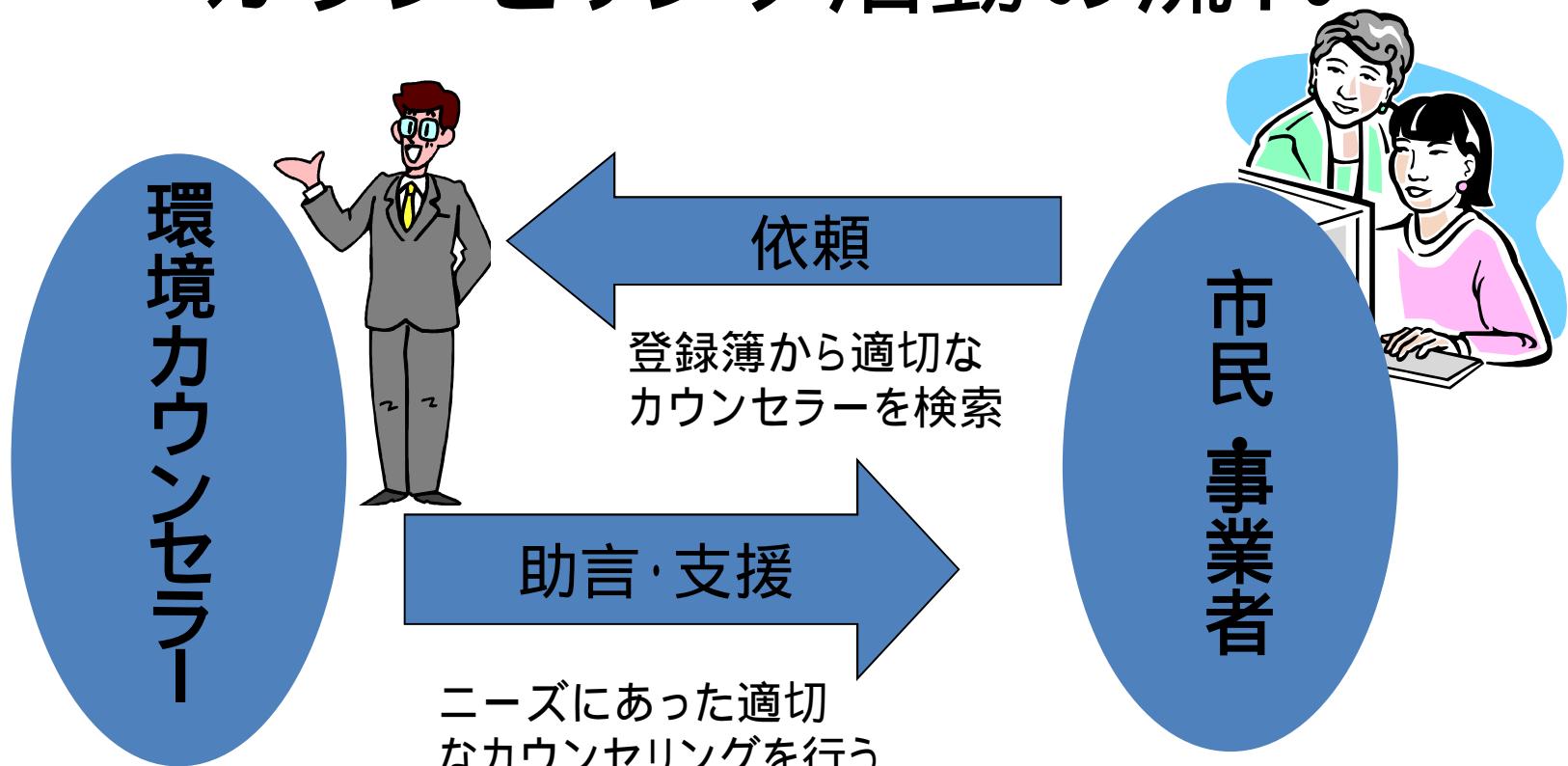
平成23年11月29日
近畿地方環境事務所
環境対策課 課長
山根 正慎

環境カウンセラーとは？

「環境カウンセラー登録制度実施規程」に基づき、環境保全に関する専門的知識や豊富な経験等を有し、環境保全活動に関する助言等を行うことができる人材として、環境省の行う書類・面接の審査を経て登録

環境保全に関する知識の付与・助言・指導
= 環境カウンセリング

カウンセリング活動の流れ



謝金・旅費などについては依頼者と要相談

環境省HPに環境カウンセラーのページが充実
<http://www.env.go.jp/policy/counsel/index.html>

環境省HPから登録者の検索

環境カウンセラー

環境カウンセラーリスト登録者検索

検索条件を入力または選択して検索して下さい。
詳しくは、環境カウンセラーに相談するにはをご覧下さい。

地域 (入力例: 東京都港区)
西陣市

専門分野 □を選択(複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 大気	<input checked="" type="checkbox"/> 水質
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメント・監査	<input checked="" type="checkbox"/> 農業物
<input checked="" type="checkbox"/> エコサイクル	<input checked="" type="checkbox"/> 土壌・地下水
<input checked="" type="checkbox"/> 環境アセスメント	<input checked="" type="checkbox"/> 騒音・振動・避難
<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 化学物質
<input checked="" type="checkbox"/> 環境計画	<input checked="" type="checkbox"/> グリーンテクノロジー
<input checked="" type="checkbox"/> 環境教育	<input checked="" type="checkbox"/> 自然観察(植物、鳥、水生生物、昆虫、星空等)
<input checked="" type="checkbox"/> 森林保護	<input checked="" type="checkbox"/> 森林保護以外の自然保護
<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動	<input checked="" type="checkbox"/> 町づくり
<input checked="" type="checkbox"/> 消費者教育	<input checked="" type="checkbox"/> 地球環境問題
<input checked="" type="checkbox"/> 環境全般	<input checked="" type="checkbox"/> その他

環境カウンセラー氏名 (入力例: 大里 大郎 オオサト タロウ) 英字と名前の中間にスペースを入れる(フリガナ可)

環境カウンセラー



環境カウンセラードットコム登録者数: 約3千人

環境カウンセラードットコム登録者数: 約3千人

絞り込み検索

結果一覧

1件のデータが一致しました。

順番	氏名	専門分野
1	環境マネジメント・監査	
2	大気、水質、環境マネジメント・監査、廃棄物、リサイクル、土壤・地下水、騒音・振動・悪臭、エネルギー、環境教育、地球環境問題、環境全般	
3	水質、環境マネジメント・監査、土壤・地下水、環境アセスメント、環境計画、環境教育、市民活動、環境全般	
4	水質、環境マネジメント・監査、廃棄物、化学物質、環境教育、地球環境問題、環境全般、その他	
5	大気、水質、環境マネジメント・監査、廃棄物、環境アセスメント、騒音・振動・悪臭、環境計画、地球環境問題	
6	大気、水質、廃棄物、リサイクル	



環境カウンセラー登録者・・・詳細

登録コード 1996128010

氏名 ()

部署 事業部

性別 男

生年月日 昭和24年

専門分野 大気、水質、廃棄物、リサイクル

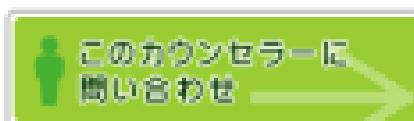
住所 大阪府大阪市中央区

電話

FAX

主な経歴 昭和47年4月から現在に至るまで一貫して日本機器製薬(株)の環境エンジニアリング部門に勤務し、大気汚染分野(各種排ガス処理設備の設計・施工)、水質汚濁分野並びに廃棄物対策分野(各種焼却炉、リサイクルプラント設計・施工)に従事し、環境負荷低減を目指し幅広い環境ビジネスに取り組む。

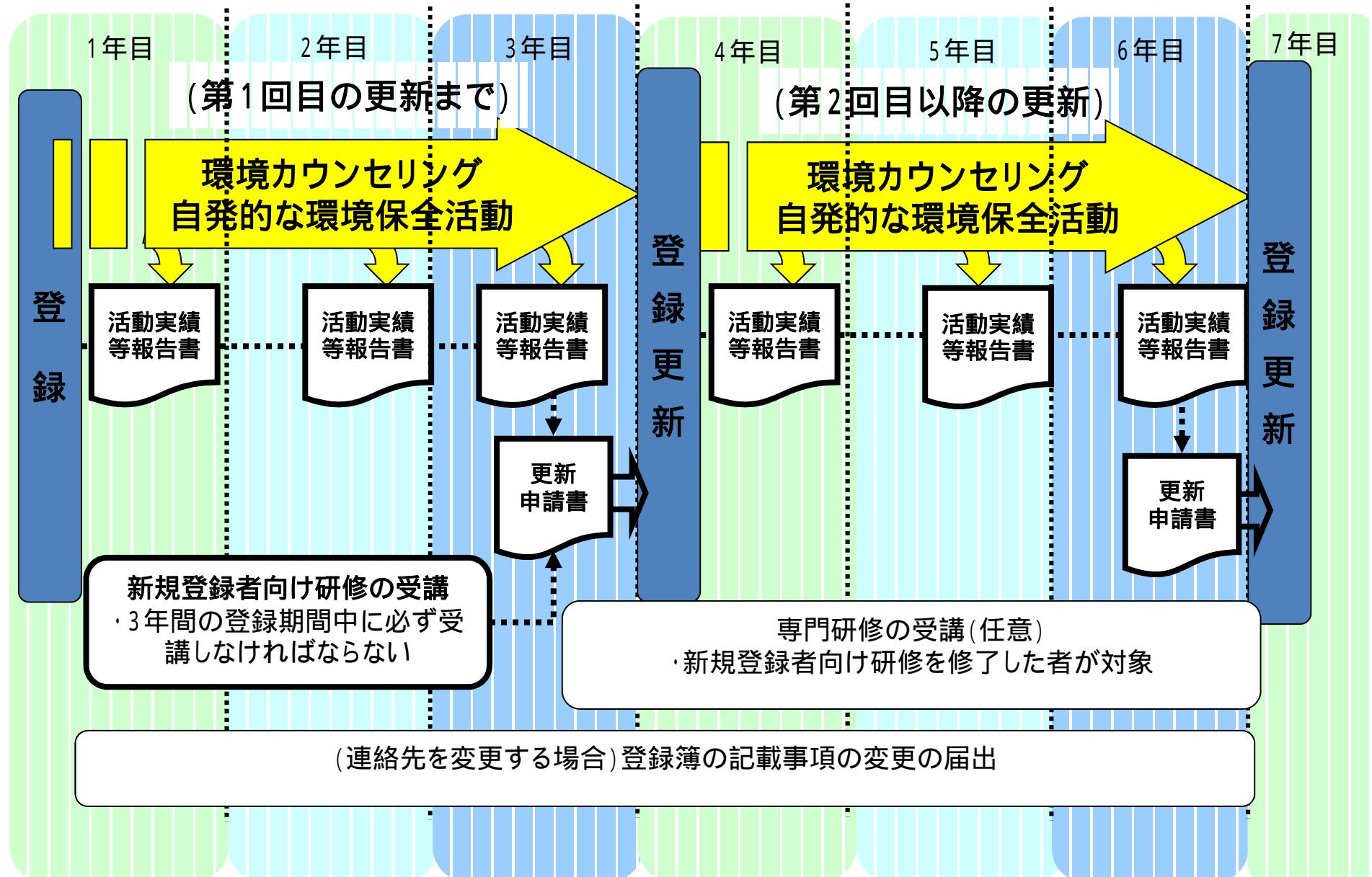
特記事項 昭和60年より海外特に台湾・韓国において焼却炉・排ガス処理設備・産業廃棄物リサイクルプラント建設に従事し、アジア新興工業国の公害防止に努める。



活動実績報告書

※活動実績報告書内の固有名詞については、プライバシー保護のため一律に「～」と伏せさせていただきます。

登録後の手続き



「事業者部門」と「市民部門」

「**事業者部門**」…所属職場内の業務に加え、地域の事業者や団体からの環境保全の具体的な対策に関する相談に対して助言・指導等

「**市民部門**」…学校・市民団体等からの環境問題、環境保全活動等に関する相談に対する助言・指導等

環境カウンセラー登録者の推移



出典:環境省HP

受験者数と合格者数の推移

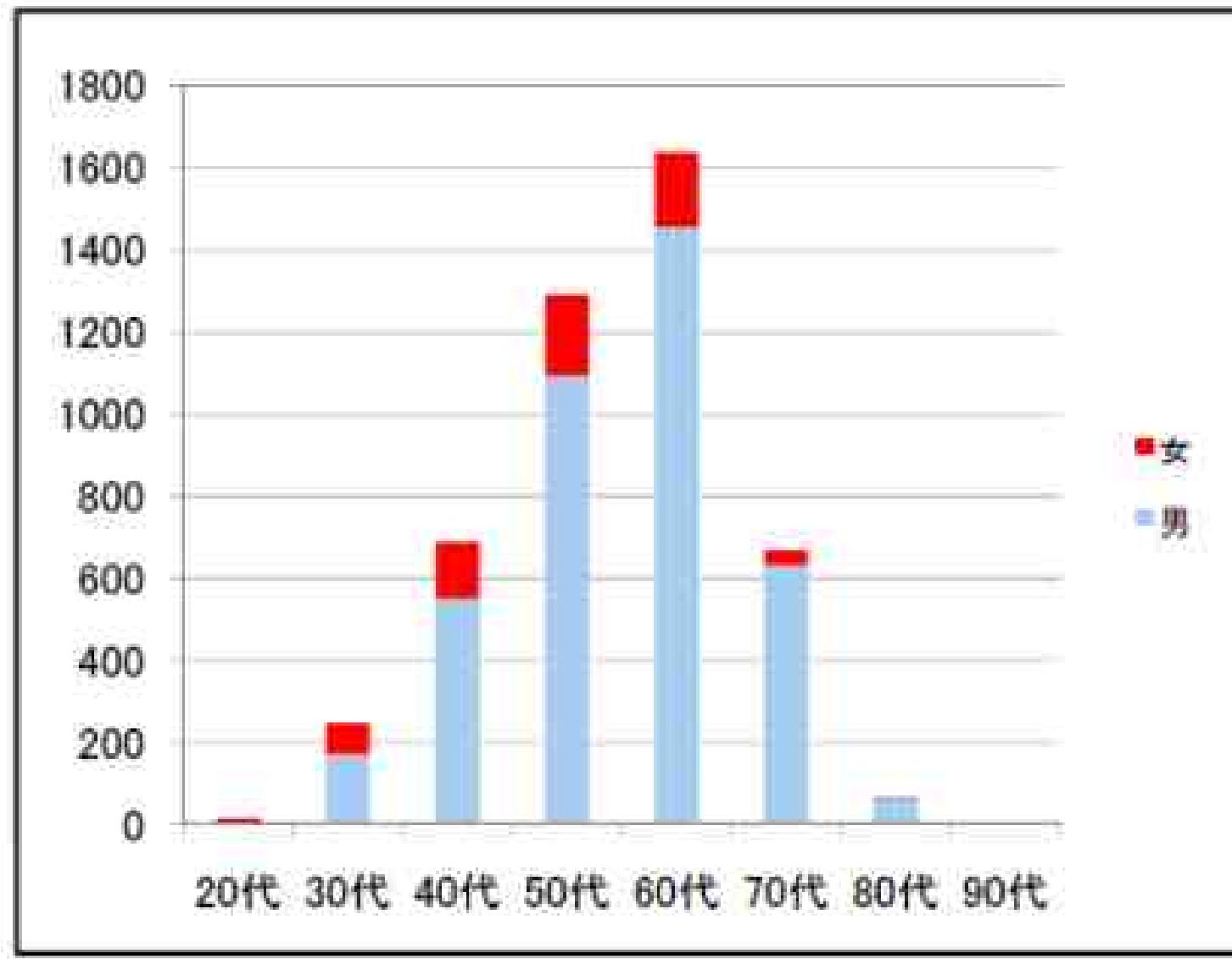
年度	受験者数	合格者数	合格率	累計受験者数	事業者部門	市民部門	受験取消者を差し引いた合計
1996	1,543	986	63.9%	986	605	321	986
1997	788	503	63.8%	1,489	903	496	1,489
1998	763	461	60.4%	1,950	1,276	672	1,948
1999	812	302	37.2%	2,252	1,417	812	2,229
2000	788	358	45.4%	2,610	1,624	941	2,565
2001	693	416	60.0%	3,026	1,837	1,129	2,966
2002	743	381	51.3%	3,407	1,984	1,285	3,279
2003	733	397	54.2%	3,804	2,163	1,448	3,811
2004	607	359	59.1%	4,163	2,289	1,611	3,900
2005	551	362	65.7%	4,525	2,350	1,774	4,124
2006	499	342	68.5%	4,867	2,473	1,907	4,380
2007	400	234	58.5%	5,101	2,538	1,990	4,528
2008	394	235	59.6%	5,336	2,637	2,126	4,763

(最新)H22年度の合格率

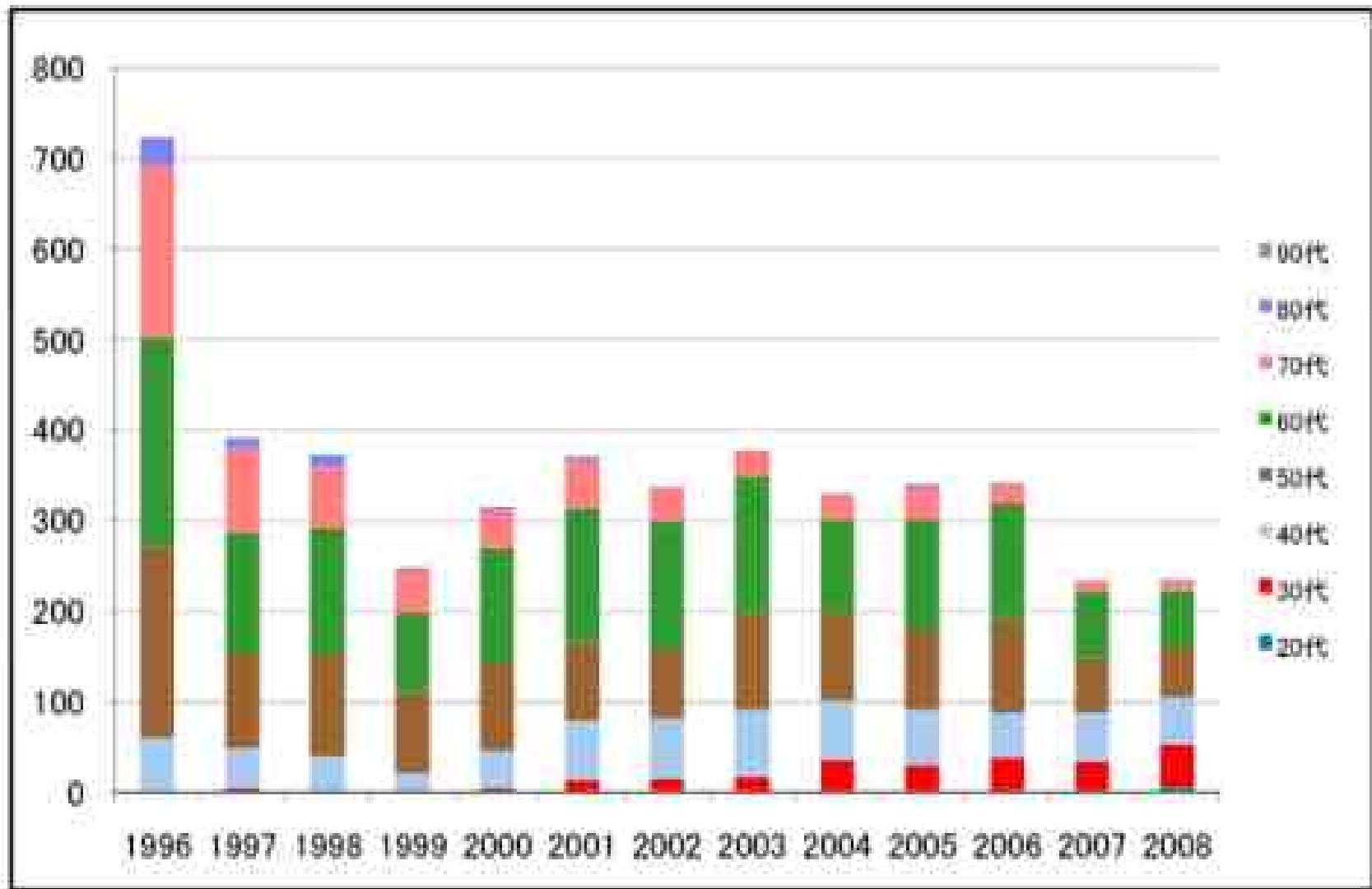
事業者部門			市民部門			合計
申請数	合格数	合格率	申請数	合格数	合格率	合格率
88	69	78.4%	77	41	53.2%	66.7%

出典:環境省HP

環境カウンセラー登録者年齢分布

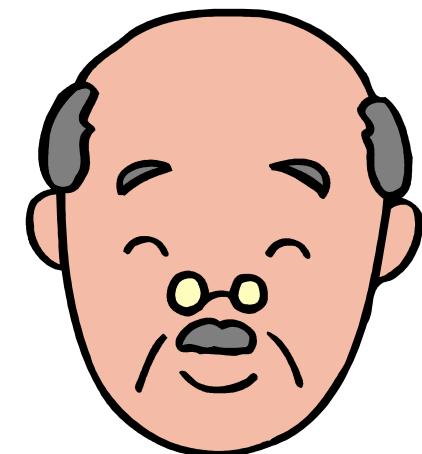


登録者 年度別年齢分布



環境カウンセラー登録者の傾向

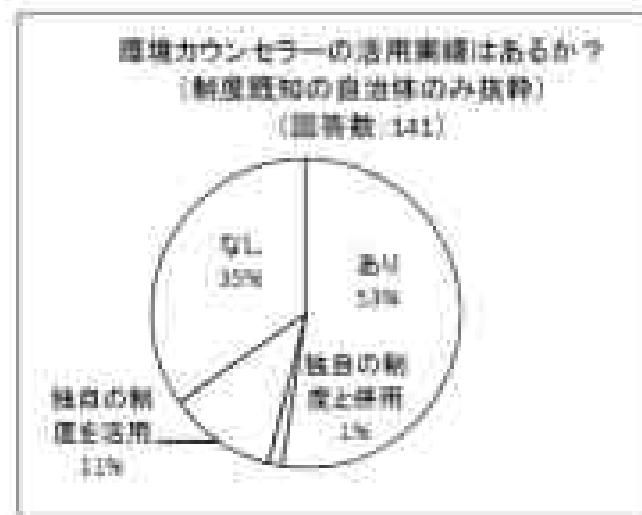
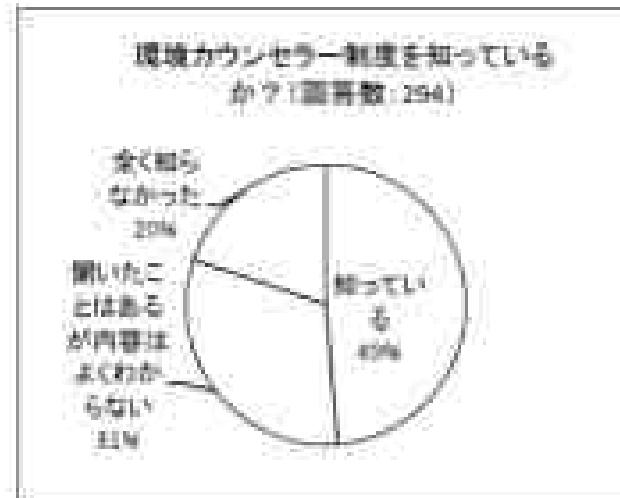
- ・50代、60代が多い。
- ・現役世代の業務に必須の「資格」ではない。
- ・ボランティア活動を行う上での対外的な信用を得るために登録



自治体へのアンケート結果(1)

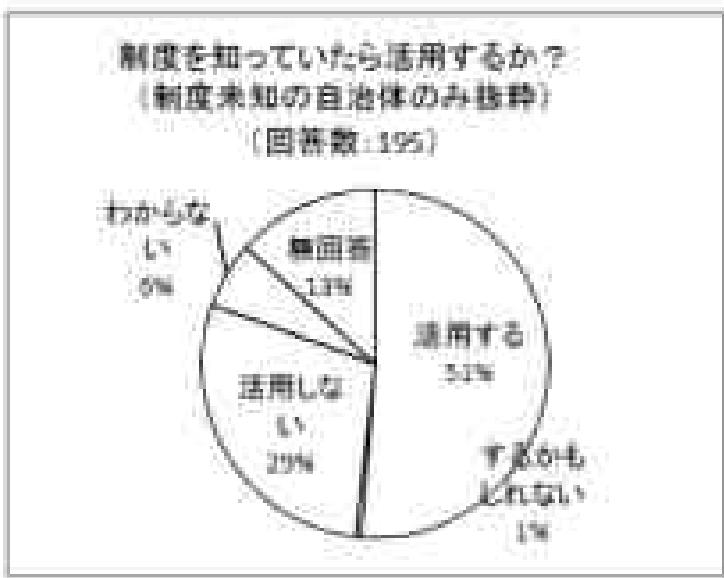
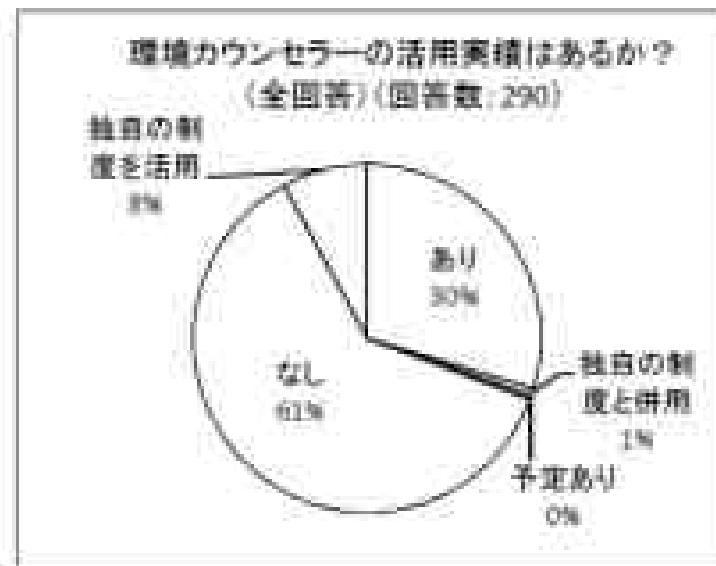
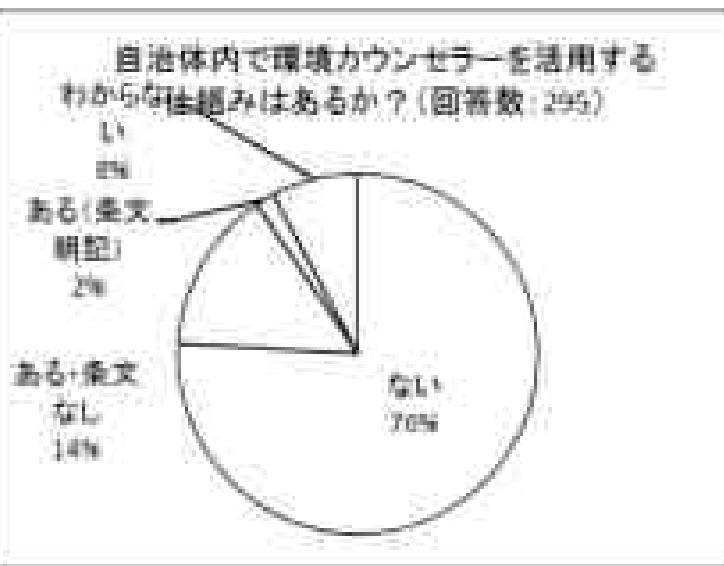
平成20年12月 日本環境協会実施

配布自治体:874 回答数:295



出典:環境省HP

自治体へのアンケート結果(2)



出典:環境省HP

つまり、自治体にお
いては環境カウンセ
ラーを活用し切れて
いない。

環境カウンセラーの活躍の場

- ・環境カウンセラー登録者数は年々増加しているが、活躍の場があまりないとの声も聞かれる。
- ・ただ、自治体、中小企業、NPOなどで潜在的な需要はあるはず。
- ・環境カウンセラーとしての仕事を得ていくには、登録者自ら売り込んでいくことも必要。

活動実績報告書について

環境カウンセラーは、毎年提出が求められている

平成20年度環境カウンセラー活動実績等報告書について

提出数	4220
未提出数	131
提出率	97.0%

「活動実績なし」者

活動実績なし	91
業務多忙、または業務での環境の取り組みのためカウンセラー活動実績なし	48
体調不良のため活動実績なし	13
「活動実績なし」合計	152

出典:環境省HP

「活動実績なし」者の割合	3.6%
--------------	------

活動の実績について

- ・9割以上の登録者に何らかの活動実績あり。
- ・ただし自己申告のため、活動内容の重みについては多種多様。
- ・活動実績の回数は重要ではない。
1つでも良いから環境カウンセラーとして意義のある仕事を得るのがベター。

環境カウンセラーとして意義のある 仕事とは？

・教えたいたことや自身の経験を相手
の内面まで伝えることができる



つまり、単なる知識の伝達ではなく、
相手の気持ちになってカウンセリング
(「伝える」ことを意識した双向のカ
ウンセリング)

例えば

- ・子供に対する環境学習

→ 短い時間で子供の意見も聞き、ともに考えながら問題の本質を説明し、子供と一緒にになって環境問題に対する意識を変えていく

- ・企業の従業員に対する勉強会

→ 自身の失敗談などを例示し、もし自分ならどういう行動を取るか、参加者にも考えてもらう

興味の引きつけ方の例

・クイズや現物(標本やサンプル等)を見せながら、イメージを促すような説明形式を取り入れる。

・研修方式にして、ワークを取り入れる

「朝起きてからここに来るまでに気付いた環境問題に関するここと」を隣の人同士でお互い話してみる



相手にも何らかの形で参加させることが重要

陥りがちな注意点

- ・講師と受講者の間に距離を置く
<例> 現役時代の自慢話ばかり

- ・一方的な知識の伝達
<例> 質問時間を取りない



学校の先生のように、相手のニーズを見ながらコミュニケーションを取っていく必要あり



「伝える」ための重要な要素

場を作る

周りの雑音が気にならないか、信頼感、意見や質問を言える雰囲気か？

話し方

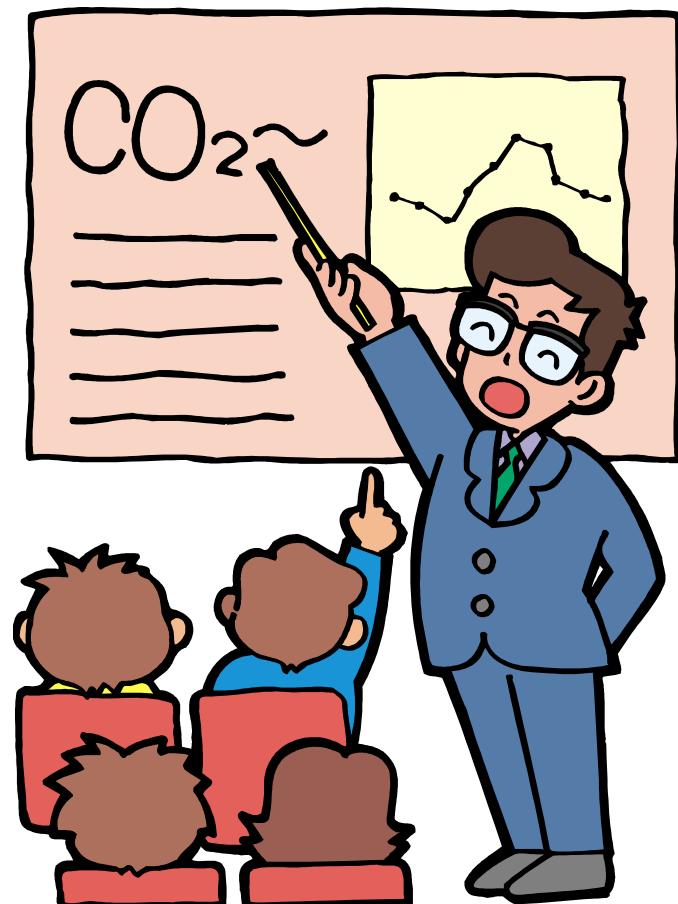
声を大きく、専門過ぎる用語を使っていないか、目を見て話しているか？

伝え方

参加してもらう、適切な構成・流れか？
考えてもらう、理解度の確認

環境カウンセラーとして重要なこと

専門知識向上への常日頃の努力
活躍の場の開拓
(行政と密に接触、地域活動に積極参加)
「伝える」ことを意識した双方向のカウンセリングに努める
(相手の反応も見ながらカウンセリング)



類似の制度1： 地球温暖化防止活動推進員

- ・地球温暖化対策推進法第23条に基づき、都道府県知事等が委嘱するもの
- ・多くは都道府県等の温暖化センターにて登録
- ・自治体が講師謝金を負担するところもある

おわりに

- ・環境問題は、今後ますます複雑かつ深刻化。環境カウンセラーに求められる役割も重要。
- ・しかし、同様の制度は地公体・民間にも多く、差別化に各自の取組が重要。
- ・社会における環境問題の本質の変化もフォローしながら、今後の環境カウンセラーの皆様方のご活躍に期待。